

# 建築工学科略史 1

## 1. 学科の沿革 (1986年までは創立20周年記念研究報告集(昭和61年12月)より転載)

- 1966(昭和41) 4.1 室蘭工業大学工学部第一部の9番目の学科として、建築工学科(4講座編成)設置、学生定員40名。内部設備費442.3万円、新設に伴う設備費総額3,643.9万円のうち初年度分902.5万円示達。
- 4.20 建築工学科第1期生37名入学
- 12.8 建築工学科創設委員会発足。委員長大坪喜久太郎学長、委員上野幸三、沢茂夫、柳井弘、佐藤文男、境隆雄、一場久美、千谷茂の各教授、及び北大の堀江悟郎教授と荒川卓助教授。幹事は目黒庶務課課長。
- 12.15 第1回創設委員会開催
- 1967(昭和42) 3.20 建築工学科研究棟1期工事完了
- 4.1 「建築構造法及び材料講座」と「建築計画学講座」の2講座開設。第2年次分設備費921.5万円示達。
- 4.17 第1期生に建築工学科の講義開講
- 8.25 菅原長四郎氏より、建築学会誌バックナンバー寄贈。
- 11.16 建築工学科図書室閲覧規程制定。
- 11.23 創設委員長大坪学長ご逝去(学葬12.15)
- 1968(昭和43) 2.20 建築工学科研究棟の増築完了。学科所有面積1,958.5平方メートル(約600坪)。
- 4.1 「建築構造力学講座」開設。第3年次分設備費921.4万円示達。
- 1969(昭和44) 4.1 「建築環境工学及び設備講座」開設。最終年次分設備費921.5万円示達。
- 1970(昭和45) 3.18 第1期生31名卒業。
- 4.1 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻設置。定員8名。  
学科内教職員の親睦を図る「健遊会」発足。
- 4.20 大学院第1期生5名入学。
- 1971(昭和46) 8.21 日本建築学会北海道支部第36回研究発表会を本学にて開催。
- 1972(昭和47) 3.18 大学院第1期生5名修了。
- 1974(昭和49) 4.1 学科図書室図書を講座別に運営・管理。
- 1975(昭和50) 4.10 学科事務室が土木・建築共用事務室に組織替。
- 1976(昭和51) 4.1 「建築生産工学講座」増設。教授1名、助教授1名(助手枠振替)増。学生定員5名増(45名/学年)。  
「建築構造法及び材料講座」を「建築構造法講座」に名称変更。
- 9.4 日本建築学会北海道支部第46回研究発表会(建築工学科創立10周年記念)を本学にて開催。
- 12.18 創立10周年記念論文集(本学研究報告理工編第9巻第1号から抜粋)を発行。
- 1977(昭和52) 2~4 講座増に伴う建築棟改修工事。

- 4.1 大学院定員2名増（10名／学年）。  
専門教育課程のカリキュラムが建設系（土木工学科・建築工学科）編成となる。
- 1978(昭和 53) 5 設計演習関係の雑誌閲覧室を仮設。
- 8.28 大学公開講座「住まいを考える」に全教官講師として協力（～9.8）。
- 1979(昭和 54) 4 共通第一次学力試験による新入生入学。
- 1980(昭和 55) 10 金属・開発棟新築に伴う校舎大規模改修工事（学科配分面積増 1,985→2,383 平方メートル）。
- 1981(昭和 56) 3～5 改修に伴い学科共用室（雑誌室，複写室，会議室，製図室等）を拡充整備。
- 8.31 大学公開講座「寒冷地に建つ住宅の設計と計画」の実施に全面協力（～9.9）。
- 1982(昭和 57) 4.1 「建築構造法講座」を「建築構造工学講座」に，「建築環境工学及び設備講座」を「建築環境工学講座」にそれぞれ名称変更。
- 1983(昭和 58) 4 学生定員一部留保第二次募集選抜による9名を含む新入生入学。
- 1984(昭和 59) 4.1 大学院定員1名減（9名／学年）（応用物性学専攻に振替）。
- 1985(昭和 60) 3.20 本学長期計画基本方針の具体化に基づく大学院博士課程設置計画に伴う「社会開発工学専攻」案に対し，開発・土木・建築で三学科検討委員会を設置。
- 7～9 建築棟の外装断熱改修工事のため，教職員・院生・卒研生全員の往復大引越。
- 1986(昭和 61) 1.9 故吉川 健先生の学科葬（葬儀委員長荒川教授，札幌中央斎場）。
- 2.19 故吉川 健先生を偲ぶ会（建築工学科教職員・院生学生，追悼）。
- 11.8 建築工学科同窓会「創の会」設立（会長武田 寛氏）。
- 12 創立20周年記念研究報告集（本学研究報告理工編第36号から抜粋）を発行。
- 1988(昭和 63) 12.21 教職員の親睦会「健遊会」解散。
- 1989(平成 1) 4.12 建築工学科第24期生52名入学（建築工学科最後の入学生）。
- 1990(平成 2) 4.1 工学部改組再編（土木工学科とともに建設システム工学科となる）。
- 1991(平成 3) 3.20 大学院第20期生5名修了（最後の修了生，修了生合計118名）。
- 1993(平成 5) 3.23 第24期生50名卒業。
- 1994(平成 6) 3.24 第25期生6名卒業。
- 1995(平成 7) 3.24 第26期生1名卒業。
- 1996(平成 8) 3.22 第27期生2名卒業（最後の卒業生，卒業生合計1,012名）。